

公表

事業所における自己評価結果

| 事業所名 | | 放課後等デイサービスすまいる | | 公表日 | | 2025年 2月 26日 | |
|---------|--------|--|-----|---------|--|---|--|
| | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点 | | |
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。 | 3 | 4 | ・テラスを使い工夫している。 | | |
| | 2 | 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。 | 4 | 3 | ・国で言われる人数より2人多く配置。 ・遠足などにはさらにプラスで配置。 | 支援のレベルUPとケースカンファを定期的に行う。 障がいの特徴での関わり方の研修を行う。 | |
| | 3 | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。 | 5 | 2 | ・利用者が知りたい情報は伝達できるよう工夫している。 ・おもちゃが沢山あって、色々な子が興味を持ちやすい。 | 1人の空間への工夫をしていく。 | |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。 | 7 | 0 | ・トイレ・洗面台清潔感があってキレイだと感じる。 | 定期的なメンテナンス（マット・食器・おもちゃなど）を行う。 | |
| | 5 | 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。 | 2 | 5 | ・仕切りを用意し、必要に応じて活用している。 | | |
| 業務改善 | 6 | 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。 | 5 | 2 | ・一日の反省会、ミーティング等通して広く職員が参画している。 | 常勤・非常勤と共に情報と目標を共有していく。 | |
| | 7 | 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 7 | 0 | ・評価表を通して家庭の様子を照らし合わせて子どもと関われる。 ・毎年評価表の結果をつなげている。 | | |
| | 8 | 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 6 | 1 | ・反省会で支援を考えている。 ・全体Mをしての共有とラインでの共有している。 | | |
| | 9 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。 | 2 | 5 | | | |
| | 10 | 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。 | 5 | 2 | ・法人全体のミーティングで研修を年5回行う。研修費用も用意されている。 | | |
| 適切な支援 | 11 | 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。 | 7 | 0 | ・すまあっぷでは一人ひとりの子どもに合わせた支援に合わせて作成されている。 ・毎月のおたよりと個別支援計画にて会議を実施。 | 5領域にわたるプログラムを今後は設定予定。 | |
| | 12 | 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。 | 7 | 0 | ・毎月のおたよりと個別支援計画にて会議を行い実施。 | 個別ケースカンファを定期的に実施予定。 | |
| | 13 | 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。 | 6 | 1 | ・常勤会議でできたことは非常勤スタッフへ必ず共有している。 | | |
| | 14 | 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。 | 5 | 2 | ・常勤会議でできたことは非常勤スタッフへ必ず共有している。 | 個別支援計画がだれでもみれるようにする。 | |
| | 15 | こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。 | 4 | 3 | ・日々の観察・反省は全員で共有している。 | | |
| | 16 | 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 | 3 | 4 | ・本人支援はしているが、その他はできていない。 | | |
| | 17 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか。 | 6 | 1 | ・常勤、非常勤に関わらず、立案を募り、実践している。 | | |

| | | | | | | |
|--------------|----|--|---|---|--|--|
| の提供 | 18 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。 | 5 | 2 | ・年間スケジュールを作成し、月間のプログラムも設定している。 | |
| | 19 | こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。 | 7 | 0 | ・集団活動、個別活動それぞれ取り組んでいる。 | |
| | 20 | 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。 | 7 | 0 | ・一日の流れは前日にラインにて流す。 | |
| | 21 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。 | 7 | 0 | ・反省会を行っている。 ・反省会があり、内容をLINEグループで共有。 | |
| | 22 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。 | 6 | 1 | ・その日あったことを記録に残している。 ・常勤ミーティングで支援の検証・改善を行い、非常勤に伝達している。 | |
| | 23 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。 | 6 | 1 | ・最低でも6か月に1回は行う。 | |
| | 24 | 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。 | 6 | 1 | | 毎日のプログラムに4つをいれながら行っているが、地域交流の機会に力をいれている。 |
| | 25 | こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定を育てるための支援を行っているか。 | 6 | 1 | ・スモールステップで本人の自己肯定感を上げている。言葉の出ない利用者にはクローズドクエスチョンで確認し、自己決定をしている。 | |
| 関係機関や保護者との連携 | 26 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。 | 3 | 4 | ・児の様子を把握している者が対応している。 | |
| | 27 | 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。 | 3 | 4 | ・児の関わる機関とは連携をしている。 | |
| | 28 | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。 | 6 | 1 | ・児の保護者より共有している。連絡調整も児の関係機関とは連携がとれる体制となっている。 | ・トラブル発生時の連絡は非常勤スタッフと共有していないのでミーティングにて共有。 |
| | 29 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。 | 3 | 4 | ・児童発達支援とは連携がとれるが、保育所等とは連携があまり取れていないので、早急にどうすべきかを確認する。 | |
| | 30 | 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。 | 2 | 5 | ・求められれば共有している。 | |
| | 31 | 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。 | 2 | 5 | 今は行っていない。 | |
| | 32 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。 | 0 | 7 | 今は行っていない。 | |
| | 33 | （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。 | 3 | 4 | ・声がかかれば参加している。 | |
| | 34 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。 | 7 | 0 | ・保護者と話す時、それぞれの様子を伝えている。 | |
| | 35 | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。 | 1 | 6 | ・ペアレント・トレーニングは今おこなっていない。今後研修を受け、すこしづつ実施する。 | |
| | 36 | 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。 | 7 | 0 | ・契約時や改訂時にお手紙またはLineにお知らせをする。 | |
| | 37 | 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。 | 7 | 0 | ・個別支援計画や毎日の記録票にて意向確認を行っている。 | |
| | 38 | 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。 | 7 | 0 | ・同意を得ている。途中改善する時も同意を頂く。 | |
| | 39 | 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。 | 6 | 1 | ・個別に対応している。 | |

| | | | | | | |
|----------|--|--|---|---|--|--|
| 保護者への説明等 | 40 | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。 | 3 | 4 | ・保護者交流会を年1回設けている。交流会で参加される兄弟児で交流の場を設けている。 | |
| | 41 | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。 | 7 | 0 | ・迅速に対応してるとの協議してからの対応とその都度適切に行っている。 | |
| | 42 | 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。 | 7 | 0 | ・おたよりを作成し、子どもの様子を全体に伝えている。 ・SNSにて発信、またはお誕生日にお渡しするフォトブックにも日頃の様子を載せている。 | |
| | 43 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。 | 7 | 0 | ・留意している。 | |
| | 44 | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。 | 7 | 0 | ・情報伝達は言葉や視覚優位で見せる等で児にあわせ、工夫をしている。 | |
| | 45 | 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。 | 0 | 7 | ・今は行っていない。 | |
| 非常時等の対応 | 46 | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。 | 7 | 0 | ・防災訓練は年3回、感染症研修も法人で年1回行う。 | |
| | 47 | 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。 | 7 | 0 | ・3日分の備蓄。 | |
| | 48 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。 | 7 | 0 | ・事前に確認し、薬はファイルにいれてもらっている。 | |
| | 49 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。 | 7 | 0 | ・事前に保護者から確認し、対応している。 | |
| | 50 | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。 | 7 | 0 | ・予知行動の研修も行っている。 | |
| | 51 | 子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。 | 6 | 1 | ・プログラムで取り組んでいるので、周知している。 | |
| | 52 | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。 | 5 | 2 | ・安全委員会を設置。ヒヤリ、アクシデント報告が義務付けられている。 | |
| | 53 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。 | 7 | 0 | ・虐待防止委員等役割が設定されている。 | |
| 54 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。 | 5 | 2 | | ・今現在は該当者はいないが、どんなことがあたるのかを皆に周知する。 | |